

## ～海外交流派遣を終えて～

大沼中学校 2年 大澤 亜佑美

面接等乗り越えて派遣生に決まったとき海外という未知の世界に行ける、貴重な体験ができる、という期待と未知の世界で自分が無事に派遣生としての役割を果たすことができるだろうか、という不安が心の中にありました。また、文化の違い（特に言葉）がかなり気がかりでした。

10月4日は函館～シカゴまで20時間かけて行きました。アメリカに着いたとき、「ついに着いた！」と嬉しさでいっぱいでした。しかし入国審査に時間がかかりボストン行きの飛行機に乗れなかったというトラブルにあい、ホテルにチェックインしたのが深夜になってしまいました。しかも私は時差ぼけ防止対策として一睡もせずテトリスに没頭していたのでシカゴに着いたときにはとてつもなく眠かったです。

5日は4時に起きてニューヨークを経由してボストンに行きました。機内で寝たのでボストンでは車窓からの景色に見とれていました。野球のスタジアムやれんが造りの建物など興味深いものがありました。

コンコードに着き、ホストファミリーに会えた時の喜びは今回で最高のものでした。ホストファミリーは韓国系の方で、母のミスクさん、娘のルーリアさん、息子のバロンさんと亀（その内1匹はスッポン）と鶏1羽でした。ルーリアは私より2才年上でしたが、私と同じくポケモンが好きだったこともあり、家に向かう車内で会話が弾みました。ルーリア達は日本語を話せなかったけど、ジェスチャーなどを用いてコミュニケーションをとりました。

ホストファミリーの家は亀に関する雑貨が多く亀1匹とモビールが10数個、壁にはポスターが張りめぐらされていて、とてもにぎやかな部屋でした。6日～8日は記念式典などのイベントに出たり、他の派遣者と共にボストン観光に行ったりしました。ボストンではクルージングで港を海から見学したり、クインシーマーケットやハーバード大学での買い物や見学をしました。また、ホストファミリーと近くの大きな公園で散歩をしたり、ショッピングモールやレストランに行ったりと充実した日々を過ごしました。特に楽しかったのが家族との会話でした。英語は苦手でしたが、ルーリア達に



日本語を教えたり、逆に韓国語や英語を教わったりと、少しずつ通じるようになりました。ハングルの名前をもらったりもしました。I P A Dを使わせてもらいながらアメリカのニュースについてや将来の夢を語り合いました。現地に住んでいる日本人の方達やC C H Sの先生はとても優しく、楽しい人達でした。この3日でもっとも楽しかったのがC C H SのカフェテリアでのB B Qパーティーです。実際にはB B Qは食べられなかったけれど、各家庭から持ち寄った美味しい料理のバイキングや大きなケーキを食べたり、皆で思い出のスライドショーの視聴やイカ踊りを踊ったりしました。

9日～10日はC C H Sにルーリアと通学しました。C C H Sは私の知っている高校よりも大きくさすがアメリカと感心してしまいました。特に図書館が気に入りました。約3階ある大きな図書館で、沢山の本があり私にとって天国のようなところでした。ルーリアとは数学の授業に参加(かなり難しかった)したり、学食を食べたりしました。学食はサンドイッチがとても美味しかったです。10日はオルコット小学校に行き、合唱をしました。私は伴奏を担当しました。毎日こつこつと練習した成果を発揮することができました。ホストファミリーと過ごす最後の日だったので、ミスクさんとルーリアとコンコードのレストランに行きました。ロブスターのサンドイッチをごちそうしてもらい、皆で話もしました。その後、コンコード博物館に行き、コンコードの歴史について勉強しました。とても行きたかったところなので嬉しかったです。

11日、いよいよ別れの時がきて、ホストファミリーに手紙を読みました。涙を流さない決めていたけれど、ルーリアと共に泣きました。

ニューヨークに着く前にハンバーガー発祥の地によりました。ニューヨークで最初によったのはロックフェラーセンターでした。展望台からの景色はとても素晴らしかったです。他には車窓からタイムズスクエアを見学したりもしました。ホテルはとても豪華でしたが、少し怖かったです。12日は自由の女神等を見学しました。像に登れなかったけれど憧れの建造物が近くで見られたので感動しました。また、夜は派遣生と一緒に街を歩きました。ヤンキースショップや土産屋に入店して楽しかったです。



13日、アメリカ滞在の最終日はクイーンズのショッピングモールに行きました。念願のプレッツェルを食べたり、広いモールを散歩したりと楽しか

ったです。空港に行く車内で好きな映画のロケ地を眺めることもできました。飛行機に乗った時は「ああ、もうこれで終わりか。」と寂しい気持ちになったけれども、楽しい思い出がいっぱいできたので良かったかな、と思いました。14日～15日はJALホテルに泊まりました。やっと日本に着いたとリラックスできたと同時にずっと英語に囲まれていたので少し違和感がありました。函館に着いたとき、やっと帰ってきた！という気持ちになりました。

今回の海外交流派遣での体験は、今の私に多くの影響を残しました。また、ここで学んだ外国人との交流や同じ派遣者と過ごした時間を、今後の人生に生かしていきたいなと私は思いました。